

公益社団法人 関西二期会

1964年(昭和39年)京阪神に在住する声楽家たちにより「二期会関西支部」として発足し、その後1980年(昭和55年)に「関西二期会」と改め、オペラに重点を置く演奏団体として活動を開始し、2010年(平成22年)4月1日付けで法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに2011年(平成23年)12月26日付けで「公益社団法人関西二期会」となりました。

現在、その活動は年2回のオペラ公演や年6回の演奏会を軸とし、オペラ歌手の育成や、学校公演をはじめ、子供たちに向けた活動にも力を入れています。私たち関西二期会は、真摯な芸術活動を通じ広く社会に貢献することをめざしています。

知ってますか？

がつつたち
10月1日は
こくさいおんがくひ
「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度
公益社団法人 関西二期会

文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

合唱公演



「文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和3年度

ぶん かげいじゅつ

こどもいくせいそうごうじぎょう

文化芸術による子供育成総合事業

じゅんかいこうえんじぎょう
—巡回公演事業—



関西二期会合唱公演

プログラム

オープニング

小 中 威風堂々

日本の歌メドレー

小 中

四季を彩る日本の歌
(花～我は海の子～村祭～雪～ふるさと)

スキヤット

小 中

トランペット吹きの休日

男声合唱

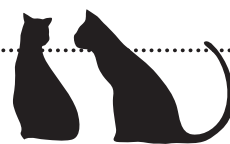
小 中

ソーラン節

女声合唱

小 中

ほたるこい



曲目解説

■威風堂々 (E.エルガー 作曲)

壮大で迫力のある合唱曲をオープニングにお届けします。だれもが一度は耳にしたことがあるこの曲は、作曲から100年以上経った今もお人々を鼓舞し続けています。

■四季を彩る日本の歌 (オリジナルメドレー)

小学生の皆さんがよく知っている童謡のメドレーです。心あたたまる歌詞やメロディーからは、かつての日本の暮らしぶりや風景、また日本人の豊かな感性が感じられます。これからの時代にも歌い継がれていってほしいという願いを込めて歌います。

■トランペット吹きの休日 (L.アンダーソン 作曲)

運動会・体育祭でもおなじみの「トランペット吹きの休日」は、メロディーを聞けば「あっ! 知っている!!」という人も多いでしょう。今日は歌詞のないスキヤットという歌い方で歌います。忙しいトランペット吹きが、休みが取れた嬉しさに思わず休みなのにまたトランペットを吹いてしまった、という話をもとに

作曲されました。リズミカルな速いテンポで、トランペット吹きの陽気な気持ちさが表現されています。

■ソーラン節 (北海道民謡: 福永陽一郎 編曲)

北海道・積丹半島の漁師がニシン漁の網を引っ張る時のかけ声「ヤーレ・ソーラン」から作られた、「沖場音頭」とよばれる作業歌です。日本にはこのように、その土地独自の歌がたくさんあります。今日は伴奏のない「ア・カペラ」という演奏スタイルで、力強い男声合唱の魅力をお届けします。

■ほたるこい (わらべうた: 小倉朗 編曲)

この曲も「ア・カペラ」です。先ほどの「ソーラン節」とは対照的に女性の優しい声で可愛らしく歌われます。3つのパートに分かれて輪唱風に歌い、ほたるの光が点滅している様子を「ほ・ほ・ほ」と音楽で表現します。この曲はもともと、秋田地方のわらべうたでした。

■君をのせて (宮崎駿 作詞・久石讓 作曲)

アニメ「天空の城ラピュタ」のヒットと共に一躍有名になったこのテーマ曲は、どこか懐かしいメロディーが印象的です。目には見えない大切なものが、そこにあると思うだけで世界は輝いて見えるという希望に満ちた歌です。

■勇気100% (松井五郎 作詞・馬飼野康二 作曲)

アニメ「忍たま乱太郎」の主題歌として、皆さんもよく知っている曲ではないでしょうか。落ち込んでいる友達に「一緒にがんばろうよ」と励ますメッセージが込められています。今日は、混声四部合唱の息のそろう24人の歌声で、パワーをお届けします。

■Jupiter (吉元由美 作詞・G.Holst 作曲)

ホルスト作曲の「惑星」をアレンジしたこの曲は、「ひとりじゃない 深い胸の奥で つながってる」と歌い、新潟県中越地震や東日本大震災の復興のシンボルとして支持されています。今なおロングヒットを続け、ドラマやCM、アーティストによるカバーなど老若男女問わず人気を集めています。

■しあわせ運べるように (白井真 作詞・作曲)

阪神・淡路大震災後に白井真氏が神戸復興を願い、作詞・作曲した曲です。未来への希望を願い歌い継がれています。

■猫の二重唱 (G.ロッシーニ 作曲)

作曲家ロッシーニが生まれたイタリアでは、猫の鳴き声は「ミャウ」といいます。オス猫とメス猫の2匹が登場し、ネコ語

で歌います。二匹の物語と結末はいかに?! 歌と演技の両方をお楽しみください。

■行け、わが想いよ、金色の翼に乗って 歌劇『ナブッコ』より (G.ヴェルディ 作曲)

歌劇「ナブッコ」は、作曲家ヴェルディが初めて大成功した作品で、古代バビロニアとエルサレムを舞台にした壮大なオペラです。第3幕の合唱「行け、想いよ、金色の翼に乗って」は、今日でも第2のイタリア国家と呼ばれ、親しまれています。

■乾杯の歌 歌劇『椿姫』より (G.ヴェルディ 作曲)

今から150年程前のフランス・パリのお話です。主人公はヴィオレッタという女性。毎晩パーティーを開き、お酒を飲んだり踊ったりして楽しんでます。ある夜アルフレードという青年が招待され、人々が「さあ、友よ飲み明かそう」と歌うのがこの「乾杯の歌」です。今日は原語(イタリア語)で歌います。歌手たちの表情や演技から華やかな場面を想像しながら聞いてみてください。

